

第1回 農業農村整備における地球温暖化対応検討会 議事要旨

開催日：平成19年9月26日(水)

開催場所：飯野ビル8F 4～6会議室

(議事要旨)

本検討会では、農業基盤における機能に着目し、温暖化による影響と緩和策、対応策を中心に議論していくことを目的とする。ただし、意見交換の中では、多様な視点からの議論も行いたい。

気候変動に対する影響を検討することによって農業基盤整備のあり方を検討することが大切。

気候変動はその進行に合わせて影響を予測し、その影響に対して対策を検討することが大切である。そのためには、気候変動毎に段階での影響を整理していきたい。

IPCCは、世界を対象としたグローバルな研究成果であり、日本を対象として検討を行う場合は、シナリオ等の条件を考慮して読替えて使用することが適当。

RCM20の結果を使用して検討を行う場合は、現状での再現性やモデル作成の条件を確認する必要がある。

日本の局地的な影響を検討するには、不確定要素が多いため、地域のシナリオを作成する必要がある。そのためには、各機関が横断的に連携して取り組む必要がある。

気候変動により一番影響を受ける要因、時期を整理する必要がある。